

# 令和3年度 第11回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日時】 令和4年3月11日(金) 18:00~19:40

【場所】 厚田総合センター2階ホール

【出席者】 12人(15人中)

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	渡邊 教円	○	委員	鎌田 憲一	○	委員	平賀 敏和	○
副会長	東 幸子	○	委員	小山 玲子	○	委員	丸山 真嗣典	
委員	石田 靖子	○	委員	今 光江		委員	村本 龍一	
委員	大内 さつき	○	委員	笹谷 清一	○	委員	森田 瞳	○
委員	加藤 亞弓	○	委員	角野 亮太	○	委員	八木沼 英晃	○

※会長・副会長を除き、あいうえお順

厚田支所 ~東支所長

地域おこし協力隊 ~飯塚隊員、奥本隊員

事務局(地域振興課) ~高田課長、永塚主幹、佐藤主査、寺尾主査

【傍聴者】 2名

- 【次第】
1. 開会
  2. 会長挨拶
  3. 情報交換会(リラックスタイム)
  4. 協議事項
    - (1) 地域づくり基金の仕組みについて
    - (2) 石狩市自治基本条例懇話会委員及び石狩市総合戦略推進懇話会委員の推薦について
    - (3) 第9期厚田区地域協議会の運営について(継続協議4回目)
  5. 報告事項
    - (1) 令和4年度厚田区の主要な施策について
    - (2) 厚田区地域おこし協力隊の活動報告について
    - (3) 石狩市地域おこし協力隊の活動パネル展について
    - (4) 厚田区集落支援員の募集結果について
    - (5) その他
  6. その他
  7. 閉会

(渡邊会長の提案で黙祷)

【(厚)地域振興課 高田課長】

開会の前に、本日は東日本大震災から11年を迎えます。犠牲になられた方々のご冥福と、被災地の復興をお祈りして、黙祷を捧げますので、ご起立お願いいたします。

黙祷。(1分間)、黙祷終了。ありがとうございました。

1. 開会

【(厚)地域振興課 高田課長】

開会の前に、本日、今委員、村本委員、丸山委員より欠席という連絡を受けておりますので、ご報告させていただきます。

それでは令和3年度第11回厚田区地域協議会を開会いたします。会長ご挨拶お願いいたします。

2. 会長挨拶

【渡邊会長】

お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。3.11からもう11年ということで、只今皆さんで黙祷をいたしました。1万5千人以上が亡くなり、未だ2千5百人以上が行方不明です。普段の生活では、ついそういうことを忘れがちになってしまいますが、こういう時こそ思い出すべきと改めて思います。

また、世界に目を向けますと、ウクライナの問題等暗い話題が多いところですが、協議会では厚田区の発展に向けて皆さんで協議していきたいと思っておりますので、どうぞよろしく申し上げます。

3. 情報交換会(リラックスタイム)

○厚田区のニシン漁について

【平賀委員】

本来だとこの時期は一旦魚がいなくなるんですが、今年はずいぶんなくなりたくなくて、漁期終了の4月4日まで獲れるんじゃないかと私の親方が言っていました。昨日、澤田建設の近くの沖で群来を見ました。何十年もニシン漁の手伝いに行っていますが、自分で見たのは初めてで、美しいものだと感動しました。

【(厚)地域振興課 佐藤主査】

3月9日朝、本日欠席されておりますが、漁協選出の村上委員から情報をいただきました。3月8日朝の時点で厚田区の水揚げは660t。この日も60tぐらいの水揚げがありそうとのことだったので、既に700tを越えていると思います。今週はずっと獲れると思うと言っておりましたので、今年の厚田区全体での水揚げ830tを上回るの間違いのないこととです。

○あつたライフサポートの会除雪作業について

【(厚)地域振興課 高田課長】

基本的にライフサポートの会は、屋根の雪が落ちて窓が埋まってしまう場合や、平らで勾配の無い屋根、車庫とか物置等になりますが、この2つに限り会員から依頼があれば除雪を受けています。今年度は1月、2月で16件の依頼があり、サポーター延べ60人で作業しました。今年は結構雪が多かったので依頼件数も多い年となりました。

○カタクチイワシの漂着について

【(厚)地域振興課 佐藤主査】

3月3日厚田の海岸にカタクチイワシが大量に漂着したという記事が、3月6日の北海道新聞に掲載されました。

区民の方から写真を提供いただきましたが、その中で、浜益で度々話題になる「ルッツ」も寄っていたということでご紹介したいと思います。浜益のルッツとは形や色が違うので、浜益出身の私でも、ちょっと食べる気にならないということで、話題提供をさせていただきました。

#### 【角野委員】

早速、子どもたちを連れて魚を拾いに行きました。家に干していますが臭くてしょうがないです。鶏のエサにしたらどうかと色んな人が言うんですが、確かに鶏は食べるんですが卵が魚臭くなるので餌には出来なくてダメでね。まだ家に干しています。

#### 4. 協議事項

##### (1) 地域づくり基金の仕組みについて

資料：1 地域づくり基金

#### 【渡邊会長】

では、地域づくり基金の仕組みについて、事務局から説明願います。

#### 【(厚)地域振興課 佐藤主査】

私から、地域づくり基金の仕組みについてご説明いたします。既に委員の皆様には、委員を委嘱した際に新任研修ということで制度についてはご説明しているところですが、任期の長い委員の方もおりますし、ここ数年は新しい基金の活用もないところです。もちろん、基金を使うことを目的に今回改めて説明するという訳ではありませんが、もう一度、どのようなルールで活用可能か簡単におさらいしたいと思います。

資料1と同じ内容をスライドにしていますので、スクリーンでも、お手元でもどちらでも結構ですのでご覧ください。

～以下、配付資料に沿って、スライドで説明

では、具体的に、基金の活用事例として、あつたの森支援の会「やまどり」へ交付した事業についてスライドでご説明しますので、スクリーンをご覧ください。

やまどりの会は、平成20年3月2日に設立された地域振興団体です。厚田区の自然を愛する仲間が集い、森林施業などの各種体験を通して、森林に対する関心を高め、区内の環境保全、森林の歴史などを子孫へ伝えながら森林を守り・山づくりに寄与し森林・林業への認識を深めながら、山のすばらしさを多くの人たちと共有することを目的とする会です。

やまどりの主な活動計画は、生活環境保全保安林内、主としてボクサナイ地区やキャンプ場周辺の散策道の整備、厚田公園内の市有林の徐間伐等の他、あつたふるさと森整備計画への参画を予定し、これらの事業を自主的、継続的に行うため、初期投資として刈払い機、鋸などの備品整備のために基金を活用したいとご提案でした。

市では地域協議会の意見を聞いて、住民自らが主体的に地域の森林の維持管理に取り組むことなどから、基金活用は妥当として、活用を決定しました。

事業の大まかな流れを図にしています。地域協議会への意見聴取に至るまでには、何度も団体と支所がディスカッションをした上で協議会に諮ったということだったと思いますが、最終的に、住民・団体の、自分たちの住む地域をより良くするために何が出来るか、事業の将来的な継続性や効果が期待出来るかが大事になります。

今回は1回目ということで、大まかな流れの確認だけいたしました。私からは以上です。

#### 【渡邊会長】

今事務局から簡単に説明いただきましたけれど、何かご意見やご質問ある方いませんか。無ければ私から1点よろ

しいですか。今現在、基金はどのぐらい残っているか、お答えいただくことは出来ますか。

【（厚）地域振興課 佐藤主査】

おそよ、8千万円です。

【渡邊会長】

10年間で2千万円の活用ということですね。せつかくの基金ですから、活用方法についてみんなで考えて行くのも良いかなと思います。基金につきましては、今後も協議会の中で勉強を重ねるということにしたいと思います。

## (2) 石狩市自治基本条例懇話会委員及び石狩市総合戦略推進懇話会委員の推薦について

資料無し：口頭で説明

【（厚）地域振興課 佐藤主査】

石狩市より地域協議会に対して、2つの懇話会委員の推薦依頼が来ています。口頭での説明となりますが、本日、推薦者を決めていただきたいと思います。会長、副会長には既に書類をお渡しして、内容について確認いただいております。

始めに石狩市自治基本条例懇話会の委員についてです。石狩市では、平成20年4月1日にまちづくりの理念や基本ルールを定めた「石狩市自治基本条例」を施行しました。条例において、5年を超えない期間ごとに現在の条例が社会情勢等の変化に適したのか検討し、その結果に基づき必要な見直しを行うこととなっており、今年は施行から15年目を迎えるため、3回目の検討作業が必要な年となります。

条例の見直しについては、まちづくりに取り組む方々などと共に検討することが重要であることから、「石狩市自治基本条例懇話会」を設置し、見直しに係る議論を重ねていくこととなります。

任期は令和4年4月1日～5年3月31日の1年間。年6回程度の会議が予定されています。ついては、厚田区地域協議会から1名の推薦をお願いします。

もう一つは、石狩市総合戦略推進懇話会の委員です。石狩市では人口減少の緩和と地域経済の発展、持続性の高い地域社会の構築を目指し、令和2年度から令和6年度までを計画期間とする「第2期石狩市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生の一層の充実・強化に取り組むとともに、各施策の効果検証や意見交換等を行う「石狩市総合戦略推進懇話会」を設置しています。

任期は令和4年4月1日～6年3月31日の2年間。年3回程度の会議が予定されております。現行の懇話会委員は、今年度末をもって2年の任期満了となるため、新たに地域協議会に1名の推薦依頼があったものです。

以上、それぞれ1名ずつ、協議会から推薦をお願いしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

【渡邊会長】

これまで誰がやっていたとか、事務局の案はありませんか。

【（厚）地域振興課 佐藤主査】

石狩市自治基本条例懇話会委員は、前回、地域協議会の会長をお願いしております。今回も会長をお願い出来ればと思います。

石狩市総合戦略推進懇話会委員については、現任、小山委員に委嘱されています。小山さんは協議会委員としてだけでなく、こだわり隊や、北商工会女性部での活動など様々な分野でご活躍されておりますので適任だと考えています。

【渡邊会長】

小山委員、いかがですか？

【 小山委員 】

私で良ければ、地元の事情なども話しながら務めさせていただこうと思います。

【 渡邊会長 】

小山委員が引き受けてくれましたので、私が漸る訳にもいきませんね。私が自治基本条例懇話会、小山委員が総合戦略推進懇話会の委員ということで、市の方に推薦させていただくということで、皆さんよろしいでしょうか。

【 全委員 】

全会拍手で承認。

【 渡邊会長 】

では、事務局、手続きよろしくお願ひいたします。

**(3) 厚田区地域協議会の運営について (継続協議 4回目)**

資料 2 : 第 10 回厚田区地域協議会<移住・定住>をテーマにした協議 委員意見まとめ 2

【 渡邊会長 】

それでは、前回、前々回に引き続き、移住・定住についての協議になります。事務局からお願いいたします。

【 (厚) 地域振興課 佐藤主査 】

資料 2 をご覧ください。前回のご意見を中心にまとめたものになります。

～以下資料 2 に基づき、仕事の確保、住居の確保、おためし住宅、厚田の情報発信・PR について意見の詳細を説明。

ここで、皆さんに石狩市の新規就農者と、先進地事例として移住・定住に力を入れている道内自治体のホームページを見ていただきたいと思います。準備まで少しお時間を頂戴します。

～ホームページを写す準備

【 渡邊会長 】

ホームページの準備が出来るまでの間、新規就農であり、移住者でもある角野さんの意見を聞いてみたいんですがよろしいですか。

【 東副会長 】

色々ある中で、厚田に住もうと思った決め手とか教えていただきたいんですが。

【 角野委員 】

それは本当にたまたまです。僕は石狩市で研修したので、その他の所に行くのは考えてなくて、石狩市の中で自分達がどういう場所で、どういう生活をしたいかということで絞った時に、厚田は札幌にも近いし、自然もたくさんあるし、子ども達も育てやすい環境だなと、それで決めました。丁度、森田委員が知り合いだったので、一人しか知り合いいなかったんですけど、一人いれば何とかなるだろうと思って来ました。

移住に関してですが、多分、一次産業、農業になると思いますが、相当の覚悟を持ってくると思うんです。ですから受け入れる側もサポートとか相当の覚悟が必要になる。新規で大規模は難しいので、小さい面積から継続して維持出来る、そういう農家が一杯増えれば良いなと思っています。信じてるんですが、前例を作ってやっければ、良い意味で「変な人」が来てくれるんじゃないかと思っています。

【（厚）地域振興課 佐藤主査】

スクリーンの準備が出来ましたので、まず初めに石狩市の新規就農の方の動画をご覧ください。

（以下、石狩市農業総合支援センターのホームページ内の「廣井 花蓮」さんの動画を見ながら、東副会長が説明）

【東副会長】

私は、女性一人でやっているというお話を聞いていて、ずっとお会いしたいと思っていました。偶然、角野さんのお宅で会えて、その後、厚田の女子会に無理やり呼んで、一緒にご飯を食べながら色々お話を聞くことが出来ました。その中で、どうして石狩市に来てくれたかという、石狩市の農業支援センターの方は、やる気だけあれば女性一人でも就農して良いと言ってきて、凄く支援してくれたそうです。他の北海道の農業支援センターの人では考えられないくらい、石狩市の方はリベラルなんだと思いました。こういう人がいる時に、厚田にも新規就農の方が来てくれる雰囲気を作れると良いと思いました。因みにもう一人、石狩市には新規就農の女性がいます。

【（厚）地域振興課 佐藤主査】

続けて下川町の移住定住についてのホームページです。デザインもすっきりしていて非常に見やすくわかりやすいです。

【東副会長】

下川町に遊びに行こうと思って調べた時に、たまたま見つけたホームページですが、完全に移住を促進するためのホームページで、多分三セクが入っていると思うんですけど、移住したいと思ったら役所の方ではなく、相談を受ける方が別にいるんですね。もしかしたら三セクの団体の方かもしれませんが、そういう、移住の何でも屋さんみたいな人がいれば良いなと思います。

【（厚）地域振興課 佐藤主査】

次に音威子府村のホームページです。最近話題になっていますけどご存じの方もいるかもしれません。音威子府村のトリセツがアップされていたのでご覧ください。実は、これ観光パンフレットをリニューアルした際に、村のトリセツとして出したものということです。観光情報の他、何時になったら店が閉まるとか、コンビニは一軒しかないとか、ある意味自虐的なことを面白く表現しています。こういうアイデアで話題になりましたし、情報の出し方としては面白いし注意を引くなと思いました。

もう一つは、東川町のホームページです。こちらも移住定住に力を入れていて、見やすく参考になると思いますのでご覧ください。

【東副会長】

東川町は写真甲子園とかもやっていて、写真に力を入れてますよね。

【（厚）地域振興課 佐藤主査】

これらについては、サイト内に移住者のインタビューや動画もございますので、興味がありましたら後ほど見ていただければと思います。このようなホームページで情報提供が厚田独自に出来れば、厚田に関心を持ってくれる人が増えるのかなと思います。以上です。

【渡邊会長】

ありがとうございます。いずれにしてもどうしたら厚田への移住が増えていくのか、就農も含めて考えていきたいですね。今まで見た中では、まちをあげて移住のホームページを作っている。けれども石狩市の中にある厚田区をどうやったらPR出来るか、そこが課題かと思います。今まで移住定住について協議して来ましたが、今回は情報発信について皆さんで協議してはどうかと思いますが、いかがでしょう。副会長はどうですか。

## 【 東副会長 】

ホームページやSNSを使って、移住を考えている方々がずっと厚田に目を止められるようなものが出来ると、玄関口として分かりやすいのかなと思います。厚田区に特化したものとなると市としては難しいかもしれませんが。

## 【 渡邊会長 】

では次回の協議会では、厚田区独自のホームページ、情報発信について皆さんと協議して参りたいと思います。

## 6. 報告事項

### (1) 令和4年度 厚田区の主要な施策について

#### 資料3：令和4年度 厚田区の主要な施策

## 【 (厚) 東支所長 】

お手元の資料3をご覧ください。厚田区におきましては4つの主要事業が予定されております。内2つが新規事業でございます。

以下、資料3により説明

- ・あつた水彩画展芸術文化振興事業  
令和5年開催の第6回展覧会に向けた募集・PRの年について運営費の一部を交付するもの。
- ・厚田区地域おこし協力隊活動事業  
継続2名及び新規1名の計3名分を予算計上するもの。継続2名の内、1名は本来、令和3年度で卒業であったが、コロナ禍により本来の活動が出来なかった事から、国の救済措置によって1年間の延長が認められた。
- ・厚田区地域おこし協力隊起業支援補助金  
地域内において起業を予定している飯塚隊員に対して、必要な経費の一部を補助するもの。
- ・厚田区集落支援員活動事業  
集落支援員制度検討委員会において提案され地域協議会で承認を受けた事業。集落の巡回、点検による地域課題の把握及び課題解決のための話し合い、仕組みづくりによる集落対策を実施するため1名を採用するもの。

以上、厚田区におきましては新年度予算においてご説明のとおり予算計上しております。現在市議会において提案中でございます。審議の結果、議決いただくと正式な予算になるということで、ご説明させていただきました。

私から以上です。

### (2) 厚田区地域おこし協力隊の活動報告について

## 【 (厚) 地域振興課 寺尾主査 】

本来ですと、この時期恒例の活動報告会でお伝えするところですが、今年もコロナ禍のため、開催出来ないことから、協議会の場を借りて、飯塚隊員、奥本隊員から順に1年間の活動報告をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

以下パワーポイントで説明

## 【 地域おこし協力隊 飯塚隊員 】

地域おこし協力隊として、最長年度の4年目に突入するかもしれない飯塚です。それでは報告させていただきます。

- ・厚田の写真展について ～ 4月から6月にかけてオンライン、オフラインで開催。会場は道の駅石狩「あいろんど厚田」、浜益温泉、石狩市民図書館。浜益温泉に設置した感想コーナーで写真集を作ってほしい、夕日がきれいだったなどの感想が寄せられ、今後の活動の励みになった。

- ・あつたび（厚田学園企画の観光バスツアー）について ～ 事前の資料作り、当日の写真撮影等で協力した。今後とも厚田学園と関わりを持ち、厚田学園の取組みや頑張りを区内だけでなく外の人達にも情報発信したい。
- ・おためし地域おこし協力隊について ～ プログラム作りや当日参加者のアテンドをした。事業のチラシ、ホームページのデザインも任せられ、厚田の自然や魅力をわかりやすく伝えたいと思い工夫した。恋人の聖地までスノーシューで歩く等、普段自分もやったことが無い体験を通じて自分自身も厚田の新しい魅力を発見出来た。
- ・まちづくりラボ実行委員会について ～ 地域の方々と協力して2021年11月に設立。地域内外の交流を増やしてゆるく厚田に関われる場所、厚田ファンを作る実験場にする。11月から月1回のミーティングを実施。2月にバレンタインデーイベントを企画していたがコロナ禍で中止。
- ・来年度はこれまでの経験を活かしてもっと地域に具体的に関わりたい。学生も連れて来たいと思うので、地域の人にも関わっていただき協力をお願いしたいし、皆さんからのアイデアもいただきたい。

### 【地域おこし協力隊 奥本隊員】

7月に協力隊になりました奥本です。よろしくお願いします。

- ・1年目は、厚田を知る、地域の特徴や課題を見つけ、自分自身の役割を見つけることを目標とした。
- ・前職の仲間等に厚田をPRし厚田Tシャツを66枚販売した。東京に今現在、厚田Tシャツを持った人が66人いる。
- ・厚田区で初めて見る景色に感動した。（サケ遡上、海に沈む夕日、濃昼参道、冬の情景等）
- ・地域の活動に積極的に参加（やまどりの会、厚田CS委員会アドバイザー、イルミネーションを飾ろう会、ライフサポートの会）
- ・北石狩地域観光まちづくり協議会企画のE-FATバイク（電動アシスト自転車）を使用したモニターツアーへの協力。次年度も継続して協力したい。
- ・来年度は、厚田の風景と民話や昔話を融合させたガイドブックの作成や、空き家を活用した事業を考えたい。
- ・プライベートでは、厚田の冬を乗り越えることが出来たのでほっとしている。今年も厚田暮らしを満喫したい。

### （3）石狩市地域おこし協力隊活動パネル報告会について

資料：石狩市地域おこし協力隊活動パネル展チラシ

#### 【地域おこし協力隊 飯塚隊員】

今年もコロナ禍で報告会は出来ませんがパネル展として開催します。浜益の協力隊と合わせて3人の活動をパネルで紹介します。既に浜益区で3月1日から始まっていて、厚田区は3月18日から道の駅石狩「あいろーど厚田」で始まります。

また、コロナ禍で、あきあじ祭り、厚田例大祭、他のイベント等中止になってとても残念ですが、もしイベントが開催されていたら、僕たちもこんな風に活躍していたんじゃないか、というホラ画像と言いますか、過去の写真に自分達を合成したのもも展示しています。とても楽しいパネル展だと思いますので是非会場で見てください。

### （4）厚田区集落支援員の募集結果について

#### 【（厚）地域振興課 寺尾主査】

2月1日から15日まで、区内回覧やホームページで周知し区内在住の1名から応募がありました。25日面接を行った結果、この方を採用することを決定いたしました。

なお、来週3月15日に最後となる集落支援員検討委員会を開催し、その方も同席する予定です。

### （5）その他

#### 【（厚）地域振興課 寺尾主査】

厚田区地域おこし協力隊の募集についてご報告いたします。2月末日まで募集したところ、2名の応募があり、3月9日に面接を行いました。結果については来週早々決定というところまで来ております。



【（厚）地域振興課 佐藤主査】

厚田区集落支援員「あつクラ」の活動を紹介するチラシと厚田区地域おこし協力隊通信、こちらが3月15日に回覧される予定となっておりますのでご承知おきください。

6. その他

【渡邊会長】

委員の皆さんから全体を通して何か確認、質問等ございませんか。なければ次回の日程について事務局からお願いいたします。

【（厚）地域振興課 高田課長】

次回の日程は、3月29日火曜日18時00分から望来コミュニティセンターみなくるでご提案いたします。

【全委員】

了解。

7. 閉会

【渡邊会長】

本日はこれで終了したいと思います。皆さんお疲れ様でした。

○次回の日程について

令和4年3月29日（火）18時00分～ 望来コミュニティセンターみなくる多目的ホール

令和4年3月29日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長 渡辺 教岡